

JP

クイックスタートガイド (behringer.com にてマニュアルをチェック)



X32 CORE デジタルラックミキサー

AES50 ネットワークオーディオ、USB オーディオインターフェイス、
iPad/iPhone リモートコントロール搭載 40 インプット、25 バス デジ
タルラックミキサー

JP 安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのもの

のです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

ベックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146, Road Town, Tortola, British Virgin Islands

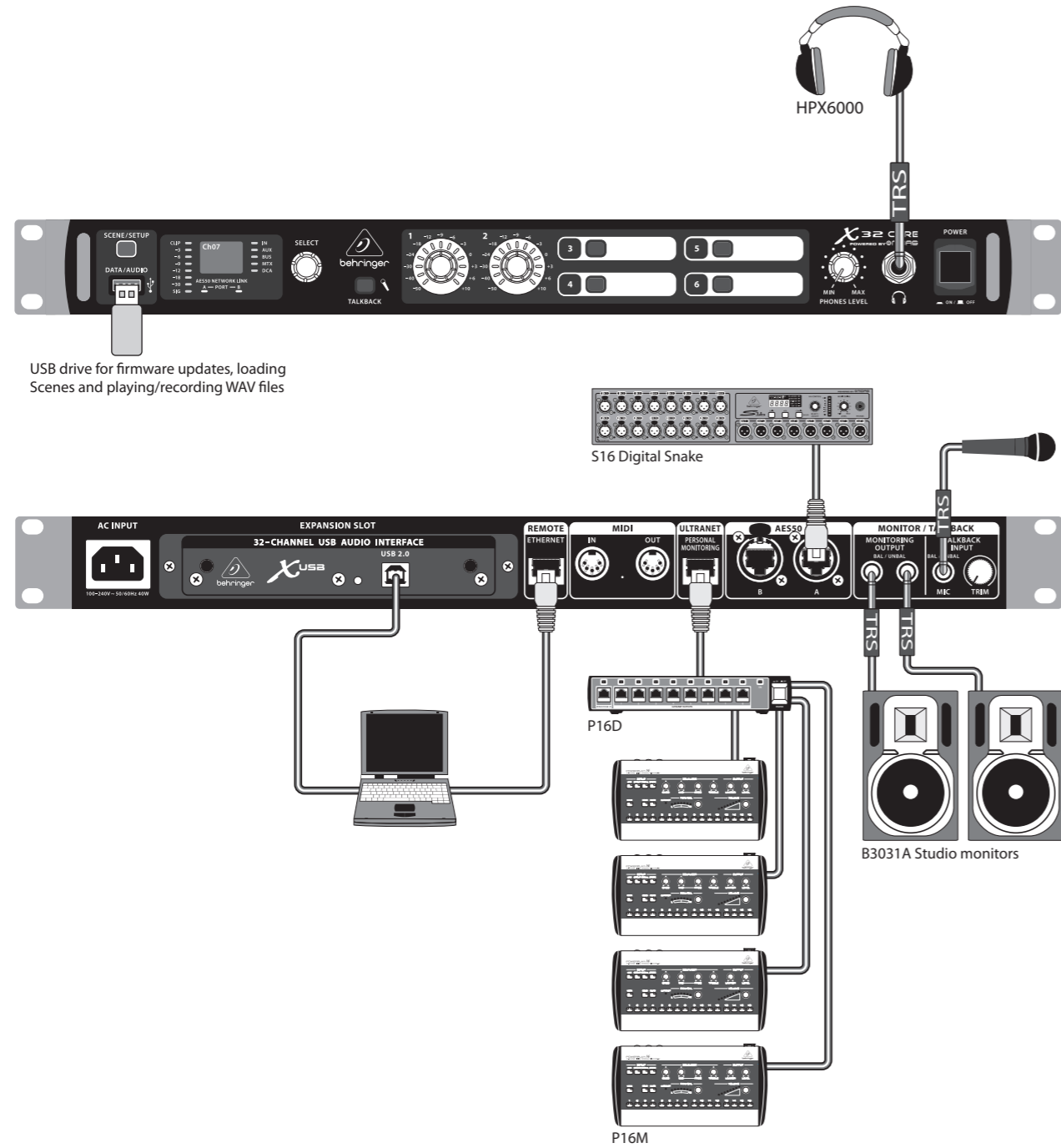
限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

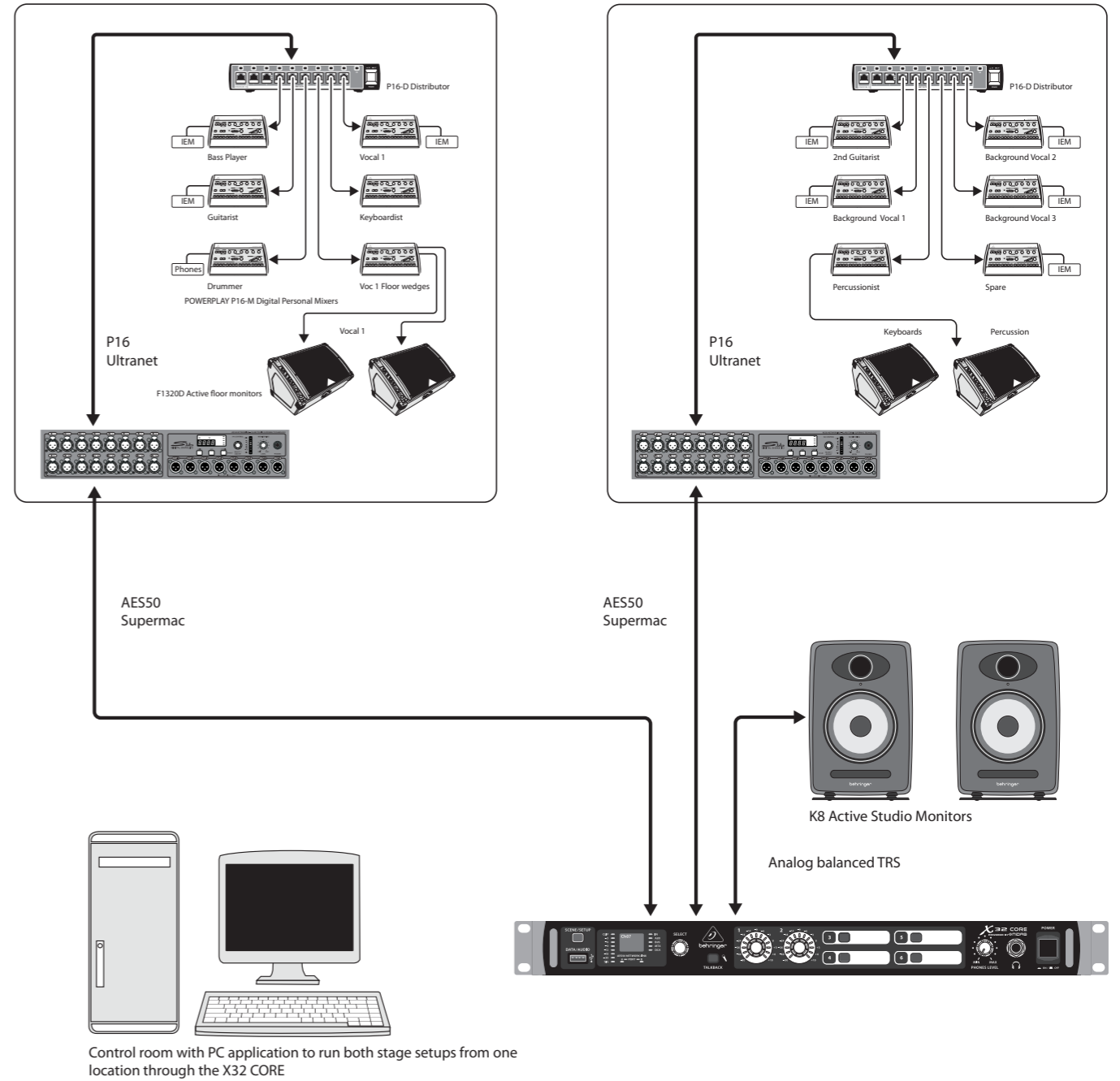
X32 CORE デジタルラックミキサーフックアップ

ステップ 1: フックアップ

基本接続



X32 CORE、S16 Snake、P16 Personal Monitor System を使ったマルチステージセットアップ

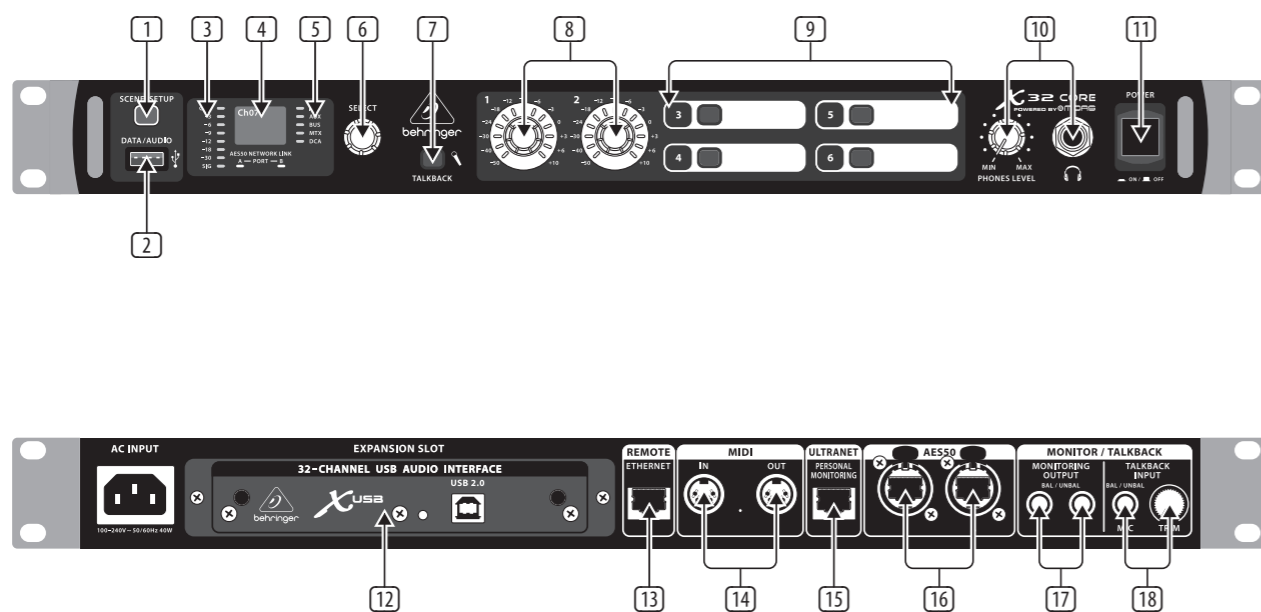


X32 と S16 ステージボックスすべての AES50 接続は

- CAT-5e シールドケーブルで行い、
- Ethercon ケーブルターミネーターの使用、
- ケーブル長は最大で 100 メーターを越えないようにしてください。

X32 CORE デジタルラックミキサーコントロール

ステップ 2: コントロール



- ① SCENE/SETUP ボタンを短く押して Scenes Recall (緑 LED) と Channel Selector モード (LED オフ) を切り替えます。ボタンを長押しすると Setup Mode (緑 LED) に入り、ボタンを再び押しすると Setup Mode から抜け出します。DATA/AUDIO USB メディアにアクセスすると LED が赤に点灯します。
- ② DATA/AUDIO インプットにはファームウェアのアップデート、シーンおよびショウファイルのロード / セーブ、WAV ファイルのプレイバック / レコーディング用に USB メモリーを挿入します。
- ③ メーターには選択されたチャンネルの入力レベルを表示します。
- ④ ディスプレイにはチャンネル名、アイコン、シーン名、セットアップページの情報を表示します。
- ⑤ チャンネルタイプ LED の点灯により、どんなタイプのチャンネルが選択されているかが判ります。
- ⑥ SELECT ノブはディスプレイメニュー、エディットセットアップパラメーターを選択します。後述の SELECT ノブ機能セクションに説明があります。
- ⑦ TALKBACK ボタンはリアパネルにあるトークバックマイク入力に接続した外部マイクをオンにします。ルーティングと操作の詳細はコントロールソフトウェアのモニタープリファレンスページで設定します。
- ⑧ ユーザーアサインエンコーダーはソフトウェア定義された様々なパラメーターを調整します。機能はコントロールソフトウェアで定義されます。
- ⑨ ユーザーアサインボタンはソフトウェアで定義されたオン / オフパラメーターを調整します。機能はコントロールソフトウェアで定義されます。
- ⑩ ヘッドフォン出力によってオーディオを直接モニター可能です。PHONES LEVEL ノブで音量を調整します。機能はコントロールソフトウェアのモニタープリファレンスページで定義されます。チャンネルセレクトモードでは Select エンコーダーを押して Solo オン / オフを切り替えます。
- ⑪ POWER ボタンはユニットをオン / オフします。
- ⑫ X-USB インターフェイスカードは最大 32 チャンネルまでのオーディオをコンピュータと送受信可能です。
- ⑬ ETHERNET 端子で OSC プロトコルを使った X32 CORE のリモートコントロールが可能です。
- ⑭ MIDI IN/OUT は 5ピン DIN ケーブルを使って MIDI コマンドの送受信を行います。
- ⑮ ULTRANET 端子は 16 チャンネルのオーディオを P16 モニタリングシステムへ送ります。
- ⑯ AES50 A、B 端子は 96 チャンネルのオーディオを S16 デジタルスネークや X32 ファミリー製品へ伝送することができます。フロントパネルの LED が緑に点灯しているときには正常に同期した状態で、LED が赤では同期エラーもしくは何も接続が無いことを示します。
- ⑰ MONITORING OUTPUT 端子は 1/4" プラグのバランスまたはアンバランスケーブルを使いモニタースピーカーを接続します。
- ⑱ TALKBACK 入力 は 1/4" TRS 端子にダイナミックマイクを接続します。TRIM ノブを使ってゲインを調節します。

X32 CORE デジタルラックミキサー SELECT ノブ機能

ステップ 3: SELECT ノブ機能

X32 CORE の SELECT ノブには数々の機能が与えられています。下の表に SELECT ノブの各場面での動作を示します。

動作	機能詳細
チャンネルセレクトモード (LED がオフ状態になるまで SCENE/SETUP ボタンを押す)	
表示	>選択されたチャンネル番号 >入力ソース >チャンネルアイコン >ニックネーム
短く押す	選択されたチャンネルの SOLO オン / オフ >チャンネル信号はリアパネルのモニター L/R 出力とフロントパネルのヘッドフォン出力へ送られる。 >モニターページの設定によって動作が異なる (リモートコントロールソフトから)
回す	即時のチャンネル選択 (インプット, AUX イン, FXリターン, バス, マトリクス, メインもしくは DCA) >チャンネルタイプ LED [5 種] の選択に依存する
長く押す	すべてのアクティブなチャンネルソロを解除
シーンセレクトモード (LED 緑点灯状態になるまで SCENE/SETUP ボタンを押す)	
表示	>太文字で "Scene" 表示 >現在のシーン番号 > GO でロードされる次のシーン番号と名前 (小)
短く押す	X32 のメモリーから選択されたシーンの呼び出し "GO" >シーン設定 / プリファレンスページの設定によって動作が異なる (リモートコントロールソフトから) > シーンセーブはリモートのみでセット / リセット >USB メモリーにあるシーン / ショウはリモートのみでアクセス >セットアップモードを使い、接続された USB メモリーから内蔵メモリーへショウ全体をロード
回す	時前に次のシーンを選択
セットアップモード (SCENE/SETUP ボタンを押したままにして LED 緑点灯状態にする)	
回して押す	以下選択後セットアップページへ: 1. Load Show 2. Contrast 3. LEDs 4. Clock Rate 5. Sync 6. IP Address 7. IP (Subnet) Mask 8. IP Gateway 9. Lock
1. Load Show	接続された USB メモリーのルートディレクトリーからショウをロード >3 項目表示: -Load Show -Exit -Show Files >Exit はセットアップモードのルートへ戻る >時計回りに回して USB メモリーのルートディレクトリーにあるショウファイルリストをスクロール、押して選択されたショウをロードしてセットアップモードのルートへ戻る
2. Contrast	LCD コントラスト >回して 0 から 100 まで調整 >押して確定

動作	機能詳細
3. LEDs	LED 輝度 >回して 0 から 100 まで調整 >押して確定
4. Clock Rate	サンプルレートのクロックを選択 >回して 44.1 または 48 kHz を調整 (X32 CORE の再起動後変更) >押して確定、戻る
5. Sync	クロック同期ソースを選択 >回して INT (内蔵), AES50 (ポート) A, または AES50 (ポート) B >押して確定、戻る
6. IP Address	X32 CORE の IP アドレス 選択 >回して最初の列を調整 (0-255) >押して確定 >回して次の列を調整 (0-255) >押して確定 >回して 3 列目を調整 (0-255) >押して確定 >回して 4 列目を調整 (0-255) >押して確定、戻る
7. IP Mask	X32 CORE の IP サブネットマスク選択 >回して最初の列を調整 (0-255) >押して確定 >回して次の列を調整 (0-255) >押して確定 >回して 3 列目を調整 (0-255) >押して確定 >回して 4 列目を調整 (0-255) >押して確定、戻る
8. IP Gateway	X32 CORE の IP ゲートウェイ選択 >回して最初の列を調整 (0-255) >押して確定 >回して次の列を調整 (0-255) >押して確定 >回して 3 列目を調整 (0-255) >押して確定 >回して 4 列目を調整 (0-255) >押して確定、戻る
9. Lock	X32 CORE のロック >"Lock Cancel" を表示 >押してロックの解除 >時計回りに回して、"LOCKED" の表示と共にバックライトが緑から赤に変わる >ために SCENE/SETUP ボタンを 5 秒間押さえたままにしてロックモードを解除する。チャンネルセレクトモードに戻る。(最後に選択したチャンネルを表示)

X32 CORE デジタルラックミキサーはじめに

ステップ 4: はじめに

X32 CORE iPad アプリ

専用 iPad 用アプリケーションによって、X32 CORE コンソールの多くの機能がリモートコントロールできます。アプリのダウンロード、セットアップと操作の詳細は X32 CORE 製品ページからダウンロードできるユーザーズマニュアルに記載されています。

ユーザーインターフェイスは iPad のタッチスクリーンに最適化され、コンソールの最も重要なリモート機能に集中しています。アプリを使用するとオーディエンスとまったく同じミックスを聞きながら、ミュージシャンと対話中にステージからモニターミックスを調整したり、オーディエンス側から FOH ミックスを調整することができます。

X32 CORE Windows/OS X/Linux アプリケーション

ホストコンピューターで編集可能なリモートエディターも提供され、Ethernet 接続で X32 CORE の完璧なコントロールが可能となります。アプリのダウンロード、セットアップと操作の詳細は X32 CORE の製品ページからダウンロードできるユーザーズマニュアルに記載されています。

メモ: X32 CORE リモートコミュニケーションは OSC (open sound control) に準じたプロトコルになっています。デベロッパーが独自のコントロールソフトウェアをデザインできるように behringer.com にて OSC プロトコルの詳細を公開しています。

X-USB エクスパンションカード

X-USB カードにより、接続されたコンピューターへ 32 チャンネルの伝送が可能です。コンピューターにミキサーを接続する前に behringer.com から X-USB ドライバとクイックスタートガイドをダウンロードしてください。

またドライバー不用で、アップル OS X コンピューターで動作するようにできるように、CoreAudio に対応しています。

X32 CORE Windows/OS X/Linux アプリケーション

ホストコンピューターで編集可能なリモートエディターも提供され、Ethernet 接続で X32 CORE の完璧なコントロールが可能となります。アプリのダウンロード、セットアップと操作の詳細は X32 CORE の製品ページからダウンロードできるユーザーズマニュアルに記載されています。

メモ: X32 CORE リモートコミュニケーションは OSC (open sound control) に準じたプロトコルになっています。デベロッパーが独自のコントロールソフトウェアをデザインできるように behringer.com にて OSC プロトコルの詳細を公開しています。

X-USB エクスパンションカード

X-USB カードにより、接続されたコンピューターへ 32 チャンネルの伝送が可能です。コンピューターにミキサーを接続する前に behringer.com から X-USB ドライバとクイックスタートガイドをダウンロードしてください。

またドライバー不用で、アップル OS X コンピューターで動作するようにできるように、CoreAudio に対応しています。

注意: X32 CORE は Setup/Lock ページの Lock を使うことにより、他の誰かによって操作されるのを防ぐことができます。この状態ではユーザーインターフェイスがどのような変更も受け付けず、ディスプレイには "LOCKED" マークを表示します。ディスプレイ右の SCENE/SETUP ボタンを 5 秒間押し続けたままにすることで X32 CORE をロック解除することができます。

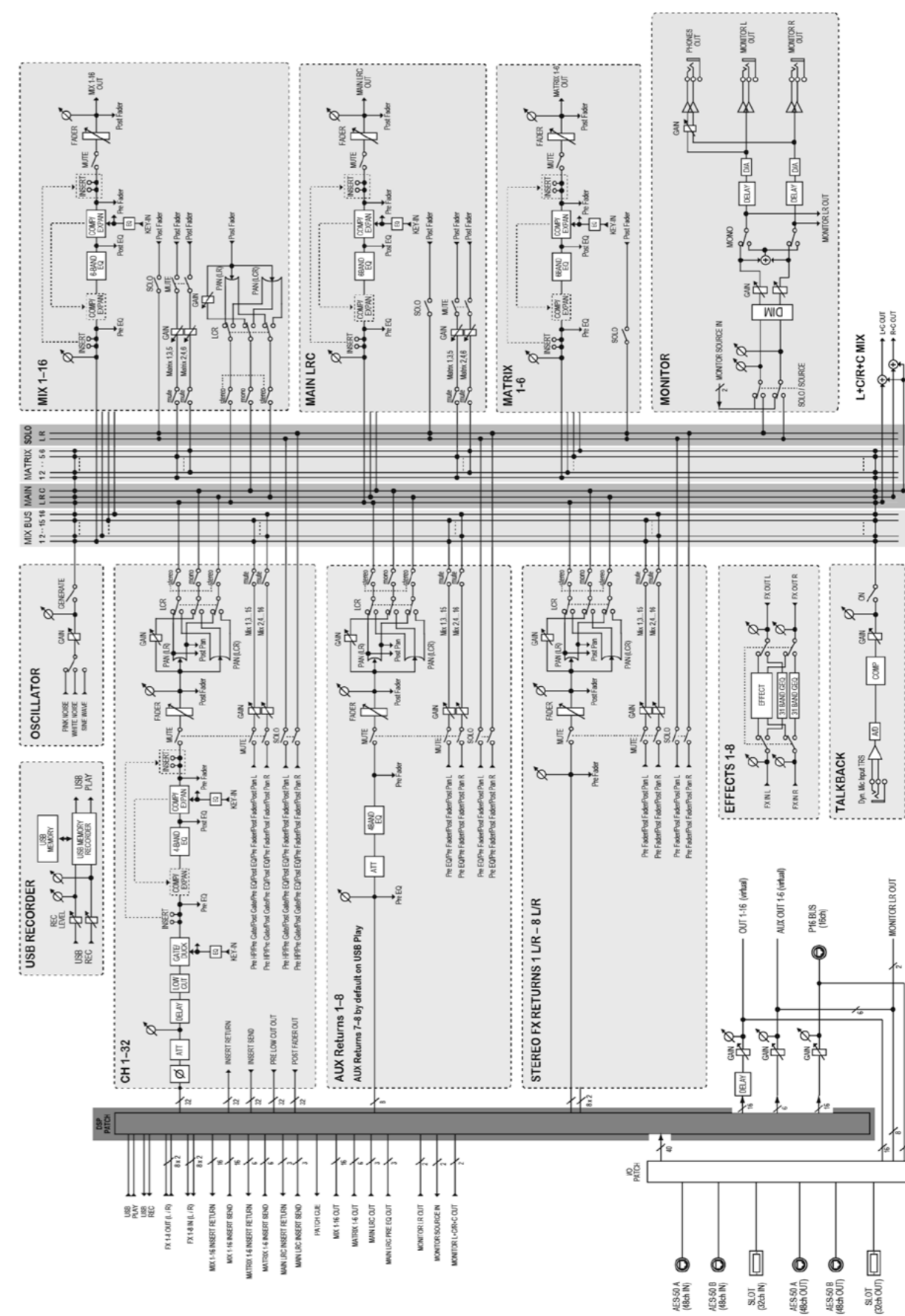
X32 のファームウェアは以下の手順によって簡単に更新することができます。

- USB メモリーのルート上に X32 の製品ページから新しいコンソールファームウェアをダウンロードします。
- コンソールの電源がオフになっている間に、トップパネルの USB コネクタに USB メモリーを差し込みます。
- SCENE/SETUP ボタンを押したままコンソールのスイッチを入れてください。起動時に X32 CORE は自動的にファームウェアのアップデートを実行します。これには通常の起動より 2、3 分長くなります。

USB メモリーにアップデートファイルが存在しない、もしくはファイルが壊れている場合でも X32 は通常に起動しないようにアップデートモードが継続されます。この場合はコンソールのスイッチを一旦オフにし、SCENE/SETUP ボタンを押したままにしないで既存のファームウェアで起動するようにしてください。

注意: X32 CORE のサイドのファン開口部をふさがないでください。特にハードケース等に X32 CORE をロードケースにマウントする時には空気の流れを確保するため、十分なスペースを空けてください。

デジタルラックミキサー X32 CORE ブロック図



JP 技術仕様

プロセッシング	
プロセッシングチャンネル数	32 インプット, 8 AUX チャンネル, 8 FX リターンチャンネル, 16 AUX バス, 6 マトリクス, メイン LRC
内蔵エフェクトエンジン ステレオ / モノ	8 / 16
内蔵シーンリコール (プリアンプ、フェーダー含む)	100
シグナルプロセッシング	40 ビットフローティングポイント
ネットワーク I/O レーテンシー (ステージボックスイン > コンソールプロセッシング* > ステージボックスアウト)	1.1 ms
端子	
トークバックマイク入力, TRS	1 外部 (ファンタム電源無)
モニター出力 ¼" TRS バランス	2
ヘッドフォン出力 ¼" TRS	1 ステレオ (フロント)
AES50 ポート, SuperMAC	2
エクステンションカードスロット	32 チャンネル オーディオ入出力, 規格多様
P-16 コネクタ, Ultraset (電源供給不可)	1
MIDI 入力 / 出力	1/1
Ethernet, RJ45, リアパネル, リモートコントロール用	1
USB タイプ A, フロントパネル, オーディオおよびデータのエキスポート / インポート用	1
インジケータ	
LCD スクリーン	128 x 64, LCD RGB カラーバックライト
メインメーター	AES50 ポート A/B ステータス, シグナル, 7 セグメントレベル (-30 dB でクリップ)
電源	
スイッチング電源	自動検知 100-240 V (50/60 Hz)
消費電力	40 W
外寸 / 重量	
スイッチング電源	5°C – 40°C (41°F – 104°F)
外形寸法	483 x 307 x 43.8 mm (19 x 12 x 1.7")
重量	3.6 kg (7.9 lbs)

*すべてのチャンネルとバス処理を含む、インサートエフェクトとラインディレイを除く

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。
- 4. AES50:** EU の EC EMC 2004/108/EC および US の FCC パート 15 の基準に準拠しています。Behringer X32 の AES50 ポート A/B におけるすべての Ultraset, Ethernet 接続は CAT5/5e または CAT6 シールドケーブルでなければなりません。



We Hear You